

会 議 録

1 会議名

平成26年度第1回上越市地域公共交通活性化協議会

2 議題

1) 協議事項

議案第1号 平成25年度実施事業の報告について

議案第2号 平成25年度決算報告について

議案第3号 平成26年度事業計画(案)について

議案第4号 平成26年度当初予算(案)について

2) その他

総合的な交通計画(名称未定)の策定について(方向性案)

3 開催日時

平成26年5月1日(木)午後1時30分から

4 開催場所

上越市役所 5階 第2委員会室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した人(傍聴人を除く。)の氏名(敬称略)

委員： 川上宏、大谷一人、佐藤章、鳥越元一、唐澤紀雄、板垣島美子、鹿住正春、早川博(代理：鈴木拓也)、常山哲(代理：歌川実)、市川公男、岩井文弘、横田智、宮崎朋子、白砂千佳、北嶋宏海、小口幹久

事務局： 池田一元課長、布施徹副課長、池田雄一係長、清水信寿主任、武藤敏寛主事(新幹線・交通政策課)

8 発言の内容

1 開会 (事務局)

定刻になりましたので、ただ今から、平成26年度第1回上越市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。

本日は、お忙しい中、皆さまからお集まりいただき誠にありがとうございます。

今回、委員の改選があり初めての協議会となります。皆さまの委嘱状につきましては、お手元の机の上に用意させていただきましたのでご確認ください。

当協議会の委員ですが、皆様が所属される組織等の人事異動などにより7名が交代されました。今回、初めて顔を合わせる方も多くいらっしゃると思いますので、順に自己紹介をお願いします。

(委員および事務局の自己紹介)

(事務局)

ありがとうございました。

本日は協議事項が4件ございます。開催案内に記載した報告事項を協議事項に変更し、また、「その他」に総合的な交通計画の策定について方向性の案を説明させていただきます。

本日の委員の出欠は、お手元に配布させていただきました委員名簿にてご報告に代えさせていただきます。

次に、本日の会議資料のご確認をお願いします。

事前に郵送させていただいた資料が「議案書、資料1-3、資料2」、それから本日配布した資料が「監査報告書」2枚と「資料1-1」、「資料1-2」、「資料3」、「地域公共交通の利用促進のためのハンドブック」です。

よろしいでしょうか。

2 会長挨拶
(事務局)

それでは、議案書3ページの次第に従いまして会議を進行します。
始めに、川上会長から挨拶をお願いします。

(川上会長)

本日はお忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、皆さま方には、日頃から当市の公共交通の維持確保、そしてまた改善に御尽力いただいていることに対して心より感謝を申し上げます。

この協議会は、当市の最適な公共交通のあり方について皆さまからご検討いただき、そして活性化を図っていくということで平成20年度に設立し、本日は26年度の第1回目の会議です。

ご案内のとおり、来年春には北陸新幹線が開業いたします。また合わせまして、えちごトキめき鉄道さんも開業になります。当市を取り巻く公共交通、交通体系は、今後こうしたことから、大きく変わって行くものと思います。

一方、当市の地域における公共交通でございますが、人口減少あるいは利用者の減少から、これまで路線バスに関し様々な見直しを行ってきました。路線バスにつきましては、市民の皆さまに一番身近な生活交通であると思っておりますので、引き続き交通ネットワークが確実に維持確保されるよう皆さまと一緒に検討していかなければならないと考えております。

当市の公共交通に関する政策の基本である上越市の総合交通計画が26年度をもって計画期間が終了することになっております。従いまして、新たな交通計画の策定を本年度進めていきたいと考えております。北陸新幹線の開業、こうしたものと合わせて当市にとって二次交通等も含めながら、また、国の交通政策基本法が施行されその基本計画が夏頃に示される予定ですので、そうしたものを踏まえながら最適な交通計画を本年度に策定していきたいと思っておりますので、委員の皆さま方からも引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日は25年度の事業報告、決算、26年度の事業計画案と予算案、そして最後に今ほど申し上げました次期交通計画についてのご説明を事務局からさせていただきますので、皆さま方から忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

続きまして、次第「3 協議事項」に入る前に当協議会の組織体制について確認させていただきます。

バス部会委員、監査委員、会長の職務代理を務めていただく方を会長から指名させていただきます。

(川上会長)

会則に基づきまして私から指名ということですので、事務局から説明ありました三つ組織についておはかりしますので、ご協力をお願いします。

まず部会ですが、当協議会にはバス部会を設置しております。今後乗合輸送の見直しなどで、より細かい内容をご相談、ご協議させて

いただきたいと思いますので、今までと同様に、鳥越委員、唐澤委員、宮崎委員、白砂委員、そして私の5人で組織したいと考えております。

バス部会は必要に応じ開催しますので、事務局より改めて連絡させていただきます。また、その他の部会につきましては、必要に応じ適宜設置しますので、皆様からご意見を頂戴しながら対応していきます。

次に、監査委員は、鳥越委員と北嶋委員にお願いしたいと考えております。

最後に、職務代理は、市川委員にお願いしたいと考えております。

それぞれの委員を今のとおり指名をさせていただきますが、皆様よろしいでしょうか。

(委員から異議なしの声)

3 協議事項
(事務局)

続きます、次第「3 協議事項」に移ります。

ここからは、会則第8条第1項の規定によりまして、川上会長から議長を務めていただきます。

よろしくお願いたします。

(川上会長)

それでは、しばらくの間議長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

委員の出席状況ですが、委員数20名に対し出席委員は代理出席を含め16名ですので、会則に規定する過半数を超えており、本会議は成立していることをご報告申し上げます。

(川上会長)

それでは次第に従いまして「協議事項」に移ります。

議案第1号と議案第2号は、平成25年度に実施した事業と決算ですので、合わせて審議いたします。

事務局から説明をお願いします。

(事務局)

(議案書4ページ、資料1-1、資料1-2、資料1-3、議案書6ページにより説明)

(川上会長)

議案第1号、第2号をご審議いただく前に、鳥越監査委員様と市川監査委員様から会計監査を受けております。

なお、市川監査委員様につきましては、本日までが監査委員ということで、明日からは職務代理とさせていただきます。

それでは代表いたしまして鳥越監査委員様から監査報告をお願いい

たします。

(鳥越委員) (議案書7ページ、8ページにより説明)

(川上会長) ありがとうございました。

それでは、今ほど説明がございました議案第1号並びに第2号について、それぞれご意見、ご質問等ございましたら挙手の上ご発言をお願いいたします。

(岩井委員) バスマップを作成していただきました。時刻表の中にマップを差し込んでいただいたことでどこにバスが走っているのか一目了然で大変便利だと思いました。

そこで、マップや時刻表の配布を9月に行っていますが、時刻表の改定が9月あたりにあるのでしょうか。もし、時刻表が4月に変わるとすれば、4月の初めあたりに作っていただくことが非常に便利ではないかと思いますが、9月になったのはどのような理由からでしょうか。

(事務局) バスの運行時刻の改定は主に10月1日に行います。バスの年度ですけれども、通常の会計等ですと4月1日から3月31日までですが、バスは10月から9月までの1年間で実績などを集計しておりますので、運行時刻も10月に合わせて見直しを行っている状況です。

ただし、個々の路線を見直す場合には4月や7月などもあります。多くの場合は10月1日に合わせて変えているものですから、ここでバスマップも一緒に作っています。

(委員) 国の補助事業も同じでしょうか。

(事務局) 国の補助事業も10月1日から9月30日の1年間で集計しております。

(川上会長) ありがとうございました。

他にご質問等はございますでしょうか。

(川上会長) 無いようですので、議案第1号並びに議案第2号については、原案のとおり承認することよろしいでしょうか。

(委員から異議なしの声)

- (川上会長) ありがとうございます。
議案第1号並びに議案第2号については、原案のとおり承認することに決しました。
- (川上会長) 続きますでは、議案第3号「平成26年度事業計画（案）について」並びに議案第4号「平成26年度当初予算（案）について」、関連がございますので一括でご審議いただきたいと思います。事務局から説明をお願いします。
- (事務局) （議案書9ページ、資料2、ハンドブック、議案書10ページにより説明）
- (事務局) 今ほど担当から26年度の事業内容についてご説明させていただきました。主な活動内容は、新たな交通計画を策定することですが、何にしましても、この公共交通、バスを中心とした利用促進が活動の決め手になります。地域協働推進事業について、私どもも次回までに事業内容を提案させていただきますが、皆さまからも、こういうことをすれば利用促進につながるのではないかとということをご提案いただきたいと思いますので、事務局へご意見をお寄せください。
どうぞよろしくをお願いします。
- (川上会長) ありがとうございます。
今ほど説明ございました、議案第3号、第4号について、ご意見、ご質問等ございましたら挙手の上ご発言をお願いします。
いかがでしょうか。
- (川上会長) 今ほど、事務局から依頼があった利用促進の提案等については、次回の会議でご検討いただくということですが、その前にあらかじめご意見等があったら、事務局の方へお寄せいただきたいという趣旨でしょうか。
- (事務局) 出来れば事前にいただいて、次回に皆様と一緒に検討できればと考えていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。
- (事務局) 本日、お手元にハンドブックをお配りさせていただきました。こちらは、地域協働推進事業が創設された時に国土交通省が作成したものです。この中には、いろいろな市町村の利用促進の取り組みが具体的に記載されており、非常に参考になりますので、ぜひ目を通していただいてアイデアをいただければと思います。

(川上会長)

ありがとうございました。
皆さまからご質問ご意見等はございますでしょうか。

(岩井委員)

利用促進を図るためにどうやったら良いかという問題があるかと思
います。利用促進を図る上で地域の住民の方に周知徹底することが第
一だと考えます。

少量輸送、乗合タクシーについては90%以上の方が知っている
と答えており、周知徹底が大切だということがよく分かると思いま
す。

そこで一つ質問ですが、上越市は福祉タクシーの導入を進めてきて
おられます。先日福祉タクシーを利用する機会がございました。運
転手さんとお話しをしたのですけれども、「福祉タクシーの利用は多
いのでしょうか。それともまだまだなのでしょう。」と、こういう
質問しましたら、知っている人が非常に少なく、そのために利用客
が少ないとおっしゃっていたのですが、福祉タクシーの利用状況がも
しお分かりでしたら教えていただきたいのと、福祉タクシーをいかに
利用してもらうかということについて、これから策定する上越市の交
通計画でどのように取り組んでいくのかということも教えていただ
ければと思います。よろしく願いいたします。

(事務局)

福祉タクシーの利用状況は把握してないので、次回までにご用意さ
せていただきたいと思えます。

福祉タクシーの活用については、利用促進というと路線バスが中心
でありましたが、今後作成する総合的な交通計画では、福祉的な視
点も重要になります。その計画の策定において関係部署との協議を行
う予定ですので、その時に福祉タクシーの活用を検討していきたいと
考えています。

(川上会長)

福祉タクシーの利用状況については、今後の協議会の中で説明する
とともに、福祉タクシーの利用促進策については、担当課と調整する
中で、委員の皆さまにお図りさせていただき意見をいただきたいと思
います。

また、福祉タクシーだけでなく、路線バスや鉄道、自家用有償運送
など目的別の輸送手段などの現状について、交通計画を作成するた
めの基礎資料を次回までに用意していただきたいと思えます。

他にご意見等はございますか。

(白砂委員)

三和区で実施予定の少量輸送システムの試験運行について、具体的
なスケジュールや、現況を教えてくださいませんか。

- (事務局) 現在は、地域住民と具体的な運行内容について検討させていただいているところです。
- 浦川原区で実施している少量輸送システムについても、当初は10月に実施予定でしたが、地域住民の方との話し合いの中で様々な意見をいただき、取り入れることができるものとできないものの相談に時間を要したことから運行開始が12月に遅れたという事情があります。三和区についても、現在は、地域住民と具体的な運行内容について検討させていただいているところですので、いつまでに実施するということが言えない状況です。
- (白砂委員) 現段階では、地域住民の方と話し合いを行いながら、要望等を確認しつつ実施しているということですか。
- (事務局) はい。
- (唐澤委員)
代理：鈴木様 3月の下旬に三和区で開催された町内会長連絡協議会で、乗合タクシーの導入を断念したと報告がありました。事務局が説明された内容とニュアンスが少し違うように聞こえますがいかがでしょうか。
- (事務局) 昨年度中に三和区に相応しい少量輸送のあり方について協議させていただきました。それが乗合タクシーなのか、浦川原区で実施するような内容なのか、地域に合わせたものを検討してきました。
- 利用者をなかなか見い出せないこともあります。断念ということではなく、今までの検討内容では地域にあった輸送形態にならないということで区切らせていただき、地域に合う輸送形態を新たに検討させて欲しいという説明をさせていただいております。
- (川上会長) 検討してきたことと地域の実情が一致していなくても、全てを断念したわけではないので、三和区を運行している4路線を統合できる見直しを地域の皆さんと意見が一致するよう、地域との連携を図ってください。
- 他にございませんでしょうか。
- (北嶋委員) 地域協働推進事業について、国の補助を受ける見込みはありますか。
- (事務局) 来週に運輸局の方と相談する機会を設けており、地域協働推進事業の内容について具体的に相談する予定です。

当協議会の予算を作成する上で、運輸支局と事前に相談させていただいており、利用促進として予定する339万円のうち、総合時刻表に係る費用の半分が補助の対象となる見込みがあるので、予算に計上させていただきました。

一方で、国の予算にも関わることなので、この事業に取り組む市町村が多ければ、実際は、少なくなる場合もあります。

(北嶋委員) 先ほどの説明の中で、利用促進案を提案してほしいということでしたが、一方で国の補助対象は限られるので、話がずれてくるのではないのでしょうか。

(事務局) 国の補助対象に該当するものや該当しないもの含めて提案いただきながら、補助対象の可否は、運輸支局と相談させていただきながら事業を計画していきたいと考えています。

(川上会長) 予算について、国の補助を見込んでいますが、取り組み内容や内示の状況をみながら、必要に応じて補正予算などのお願いもしていくことになるかもしれませんが、いずれにしても、利用促進は大切なことですので、皆様からいろんな意見をいただいて、次回以降に具体的な計画を策定していきたいと思えます。

他にご質問などはございますでしょうか。

(川上会長) なければ、議案第3号並びに議案第4号については、原案のとおり承認することよろしいでしょうか。

(委員から異議なしの声)

(川上会長) ありがとうございます。

議案第3号並びに議案第4号については、原案のとおり承認することに決しました。

以上を持ちまして、議案の審議を終了いたします。

4 その他 続きまして、次第4「その他」に移ります。

(川上会長) 先ほど議案第3号でご審議いただいた、総合的な交通計画について、具体的な審議は次回以降ですが、現状の検討状況について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) (資料3より説明)

- (川上会長) 今ほどの説明についてご質問などはありますでしょうか。
- (宮崎委員) 北陸新幹線が開業したときの二次交通について、意見が言えたり検討できる機会があるかとのことを以前の会長にお聞きしたときに、このことについては違う会で検討を行っているとのことでした。
今ほどの説明では、二次交通はこの協議会で検討するということがよろしいでしょうか。
- (事務局) 現在、上越市を含む妙高市、柏崎市、佐渡市、十日町市の5市で組織する連携会議がございます。その会議では二次交通を検討するアクセス分科会を設置しており、そこでは新幹線の仮想ダイヤに基づき路線バス等の動かし方などを検討しています。その中で検討していることも、この協議会の中で相談させていただきたいと考えています。
前回の協議会の後に勉強会として竹田前会長から新幹線の開業に向けた全体的な話をさせていただきました。この協議会では、二次交通について具体的に議論を行っていませんが、アクセス分科会と連携を行いながら、今後は具体的に、どの路線をどのように延伸して二次交通とするかなどの議論を行っていきます。
- (宮崎委員) 新幹線の運行ダイヤが決まらなると具体的な検討ができないのは分かっていますが、アクセス分科会が検討している情報を提供いただきながら、検討していければと思います。
- (事務局) 連携会議は5市で行っており広域的な話が中心となります。一方、この協議会は、上越市の中の移動を検討しますので情報交換を行いながら進めていきます。
- (川上会長) 二次交通のお話ができましたが、この協議会では、路線バスだけでなく、鉄道やタクシーなど様々な手段を含めて交通計画を策定していきたいと考えています。
鉄道事業者様より、報告できることがあればお願いしたいのですがいかがでしょうか。
- (大谷委員) 北陸新幹線が開業しますと、ほくほく線の利用者のほとんどが新幹線へ移行することが見込まれております。そこで、私どもがどのような役割を担うことができるかということですが、本来の二次交通とならなければ生き残れないとの気構えで向かっていきたいと考えています。ただ、路線や車両が限られておりバラ色の世界に浸るわけにもいかないのです。皆様からご意見をいただきながら限られた機材で本来の

二次交通として市民の皆様から評価をいただきたいと考えています。

(佐藤委員) 新幹線のダイヤが決まり、その後にJRの優等列車のダイヤが決まります。その後にトキメキ鉄道のダイヤが決まります。とにかく早くダイヤを編成し、地域の皆様に影響のないダイヤを編成していきたいと考えています。

(川上会長) 全体を通してご意見などはございますでしょうか。

(鳥越委員) 新幹線新駅へ路線バスを乗り入れる方向で検討しています。新駅の周辺を運行する路線の全線を乗り入れることができればよいのですが、その路線の多くが赤字路線であるので、どのように乗り入れるか引き続き検討していきます。また、高速バスの乗り入れについては、運行する3社と相談しながら検討します。

(川上会長) 他にございますでしょうか。
なければ、これにて議長の任を解かせていただきます。

(事務局) 次回の協議会ですが、浦川原区で実施している少量輸送試験運行の終期を6月末としていることや、利用促進の具体的な内容について検討するため5月下旬に開催したいと考えております。

5 閉会
(事務局) 以上、これにて平成26年度第1回上越市地域公共交通活性化協議会を閉会させていただきます。
長時間にわたりご審議ありがとうございました。

以上

9 問合せ先

企画政策部 新幹線・交通政策課 交通政策係 TEL：025-526-5111（内線1789）

E-mail：kotsu@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。